

国分瓦窯跡(太宰府市)

こくぶかわらかまあと

ここが国分瓦窯跡/ここで焼かれた瓦は筑前国分寺をはじめ、太宰府政庁や観世音寺周辺の建物の屋根に葺かれた



9基以上の窯が奈良時代の初め頃から平安時代にかけて長期間操業されていたと推定されている/「瓦窯由来址」と記された標柱



これも史跡の標柱だが、サビていて良く読めない



こちらには「史蹟 國分瓦窯址」と記された標柱と説明板が立っている/この辺りに窯跡が二つ発掘されているようだ



国指定史跡 国分瓦窯跡

所在地 大分県津久喜市国分 300-2, 700-2ほか
指定日 大正11年12月12日

ここは谷の斜面を利用して造られた、古代の瓦を焼いた窯跡です。谷部分は、江戸時代に堤が造られ、池となっていますが、その周縁部では、これまでに基以上の窯跡が確認されています。

窯跡は、昭和40年代まで、北側（池側）に開口している状況を見学できましたが、現在は水の浸食から保護するために埋められています。

【窯の構造】

窯の構造は、壁と天井を日干しレンガで積み上げた窯です。床は燃料を燃やす「燃焼部」と製品を焼く「焼成部」との境に境があり、焼成部の床は奥に進むほど高くなっています。また、奥の壁には2本の煙突穴があげられています。

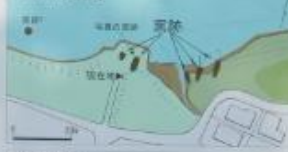
窯の壁材にレンガを使う構造は、九州では珍しく、郡から派遣された瓦つくり職人によって造られたものと推定されます。また、古代大宰府では、多くの瓦窯が造られています。その中でもここは良好に残る瓦窯跡として貴重です。

【埋め戻される前の窯跡の様子】

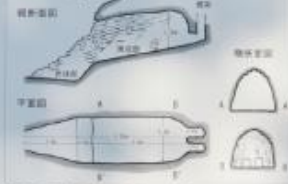
窯跡の周囲からは、老司式軒九瓦のほか、横目や格子模様の叩きを施した平瓦が見つっています。また、窯も複数あることから、奈良時代の初め頃から平安時代にかけて、長期間操業していたと推定されます。

ここで焼かれた瓦は、周辺の流跡で出土した瓦の状況から、筑前国分寺をはじめ、大宰府政庁や観世音寺周辺の建物の屋根に葺かれていたと考えられます。

【窯跡横切面】



【窯跡平面図】



【埋め戻される前の窯跡の様子】



【出土瓦】



ここは国分瓦窯跡で、約1300年前の奈良瓦窯跡の遺跡です。
Here is the site of the Iwano-dera Kiln, about 1300 years ago. It was the kiln that baked roof tiles.
は奈良時代の瓦窯跡で、およそ1300年前、奈良時代の遺跡です。
ここは、大宰府政庁や観世音寺周辺の建物に葺かれていたと考えられます。



平成33年 大宰府市

ここは谷の斜面を利用して造られた、古代の瓦を焼いた窯跡です。谷部分は、江戸時代に堤が造られ、池となっていますが、その周縁部では、これまで9基以上の窯跡が確認されています。

窯跡は、昭和40年代まで、北側（池側）に開口している状況を見学できましたが、現在は水の浸食から保護するために埋め戻されています。

【窯の構造】

窯の構造は、壁と天井を日干しレンガで積み上げた登窯です。床は燃料を燃やす「**燃烧部**」と製品を焼く「**烧成部**」との境に段があり、燃烧部の床は奥に進むほど高くなっています。また、奥の壁には2本の煙突穴があけられています。

窯の壁材にレンガを使う構造は、九州では珍しく、都から派遣された瓦つくり職人によって造られたものと推定されます。また、古代大宰府では、多くの瓦窯が造られていますが、その中でもここは良好に残る瓦窯跡として貴重です。

【操業時期と瓦の供給先】

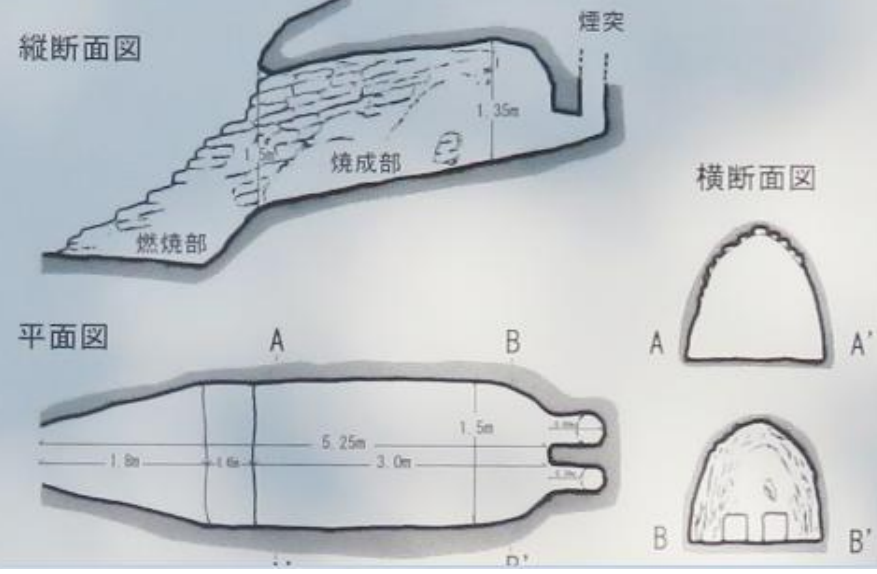
窯跡の周囲からは、老司式軒丸瓦のほか、縄目や格子模様の叩きを施した平瓦が見つかりました。また、窯も複数あることから、奈良時代の初め頃から平安時代にかけて、長期間操業していたと推定されます。

ここで焼かれた瓦は、周辺の遺跡で出土した瓦の状況から、筑前国分寺をはじめ、大宰府政庁や観世音寺周辺の建物の屋根に葺かれていたと考えられます。

【窯跡周辺図】



【窯跡実測図】



斜面を掘り抜いたあと、壁と天井を日干煉瓦でアーチ状に積み上げて作られた地下式の登窯

【埋め戻される前の窯跡の様子】



【出土瓦】



表採された老司式軒丸瓦の拓本



縄目叩きのある平瓦の破片

この辺りが発掘現場であろうか



フェンスの外側はこのような灌漑用水の溜池となっていて、これ以上は見学できない



これはその池側から窯跡のあったエリアを見たところ



国分瓦窯跡

西都太宰府/九州国立博物館 より

参考ホームページ

<http://www.city.dazaifu.jp/material/files/group/3/45199094.pdf#search=%27%E5%9B%BD%E5%88%86%E7%93%A6%E7%AA%AF%E8%B7%A1%EF%BC%88%E5%A4%AA%E5%AE%B0%E5%BA%9C%E5%B8%82%EF%BC%89%27>

<https://www.dazaifu-japan-heritage.jp/bunkazai/detail.php?cId=324>

<https://dazaifu-bunka.or.jp/info/spot/detail/14>

https://lovery-iruka.at.webry.info/201007/article_14.html

<http://kofunmeguriwalking.web.fc2.com/kokubukawaragamaato.html>

<http://dazaifu-sanpomichi.com/%E5%9B%BD%E6%8C%87%E5%AE%9A%E5%8F%B2%E8%B7%A1-%E5%9B%BD%E5%88%86%E7%93%A6%E7%AA%AF%E8%B7%A1/>

<https://tabi-mag.jp/fu0250/>

